

# 会社は、 本人の希望「**現職・現職場を希望 する**」とは、関係のない職場へ！

またしても会社は、JR東海労の仲間である山田 保組合員を、本年4月「60歳」の誕生日を待たずして、CMC（整備会社）大垣駅に出向に出しました。

血と汗と涙の国鉄改革としての「3本柱」の派遣を担い、赤字の国鉄を新生JRへと誕生させ、さまざまな業績を残してきた人材を意図も簡単に職場から、本人の希望する職場とは違う職場へと放逐させました。

さらに過去をさかのぼれば、松尾政幸組合員・稲垣清治組合員・鈴木富雄組合員の先輩方々も『本人の希望した業務とは全く違う職場へ、山田組合員と同様に他職場へ「60歳」を期に出されました。

さらに、7月1日付で、牧江邦雄組合員も「60歳」の誕生日を前に、CMC岐阜羽島駅に出向が決定しています。しかし、職場には「60歳」の誕生日を過ぎても、2名のユニオン社員が現場で業務に携わっています。

これは、職場において会社に対し「悪いことは悪い」と、ものを言うJR東海労の組合員であるが故に、職場から放逐し、たたかう組合の組織の弱体化を狙った会社による組織破壊攻撃の一環であると考えます。このように、職場から会社に歯向う人間を排除し『命令と服従』『規律と忠誠心』の風土創りのために「現職・現職場で働きたいと希望している社員」を現場から放逐しているのが実態であり、これがJR東海会社の姿勢なのです。

**「おかしいことは、おかしい！」と会社に対して  
主張する者を現場から追放はオカシイですよ！**

ユニオン組合員の皆さんも、この問題を共に考えて見てはどうですか。

